



2020

日鶏協ニュース

令和2年6月

一般社団法人 日本養鶏協会

INDEX

・日本養鶏協会 第71回定時総会開催のお知らせ	1
・畜舎建築基準の見直しで農水省が書面検討会を開催－中間とりまとめ案が出される	2
・統計データ	5
・協会活動報告	6

日本養鶏協会 第71回定時総会開催のお知らせ

記

- 日時： 令和2年6月24日（水） 13:00～16:00
- 場所： 大手町サンケイプラザ 3F
東京都千代田区大手町1-7-2
電話 03-3273-2230
- 議案： （決議事項）
第1号議案 令和元年度計算書類等に関する件
（公益目的支出計画実施報告も含む）
第2号議案 令和2年度会費の賦課及び徴収方法に関する件
第3号議案 理事1名の選任に関する件

（報告事項）
1 令和元年度事業報告
2 令和2年度事業計画及び収支予算

今般の第71回定時総会につきまして、現下の新型コロナウイルス感染症等諸般の情勢を踏まえ、できる限り規模を縮小して開催したいと考えております。事情をご賢察のうえで、きまりましたら委任状をご送付頂きたく、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

委任状によりご参加を頂く会員の方々に対しては、総会に先立ちご質問・ご意見を予め書面で受付け、議場において開示・回答を行うことにより、ご質問・ご意見表明の機会を設けます。また、総会議事運営の動画を録画し、3ヶ月の間協会HP上に掲載し会員の方々に対し限定公開することで、開かれた総会運営に努めます。



2020

日鶏協ニュース

令和2年6月

一般社団法人 日本養鶏協会

畜舎建築基準の見直しで農水省が書面検討会を開催 —中間とりまとめ案が出される

本誌4月号で紹介した新たな畜舎建築基準等の在り方に関する検討会について、第3回検討会が5月11日に書面で開催されました。

この検討会で、概略を示した中間とりまとめ案が出され各委員からは特段の意見はなかったようです。

それによると生産者は現行の建築基準か今回の新法による建築基準かのどちらかを選べる選択制になっていて、新法を選んだ場合でも現行に近いA基準もしくは相当程度基準を緩和したB基準のどちらかを選択でき、飼養している畜種が違う個々の生産者の状況を踏まえたシステムになっています。

中間とりまとめ案は以下通りです。

中間取りまとめ①（制度の位置付け、対象畜舎、手続等）

- 新制度は国際競争力の強化に向けた畜産振興及び建築・経営コスト削減の観点から位置付け、一定の安全性を確保した上で建築基準法の特例として措置し、一定の基準を満たす事業者（畜産農家等）のみ新制度の活用を選択可能。
- 畜産農家等からの要望を踏まえ、新築・増改築の際に事業者が、「新制度による基準」又は「建築基準法による従来の基準」を選択できる仕組みとする。
- 新制度に基づく基準は農林水産大臣が示すこととする。
- 新制度による基準の概要
 - ① 対象畜舎
 - 新制度の対象となる施設は、畜舎（家畜の飼育施設）及びその関連施設（たい肥舎及び搾乳施設）とし、それが建築基準法上の建築物か工作物かは問わない。
 - 対象の畜舎は新制度施行後に新築、増改築（既存畜舎部分についても新基準への適合が必要）されるものに限る。また、建築士の設計に基づき、建築されたものに限る。
 - 市街化区域と用途地域等を除いた地域に建築される平屋の畜舎を対象とし、高さ、軒高は、今後検討する（現行建築基準法の下で緩和措置が適用される高さは13m、軒高は9m）。
 - 延べ床面積の上限は定めない。
 - ② 手続
 - 新制度において、畜舎の利用に関する計画及び畜舎の設計に関する計画を事業者が作成し、行政はその内容がそれぞれソフト基準及びハード基準を満たしているか確認。
 - ハード基準の確認手続については、一定の基準を満たすものは除外するなど手続



2020

日鶏協ニュース

令和2年6月

一般社団法人 日本養鶏協会

等の簡素化を行う。

(例：ハード基準に関する確認が不要となる面積（建築基準法では木造 500 m²、その他 200 m²）の大幅な引上げ)

- ソフト基準に従って畜舎として利用されているか等、行政が定期的に確認を行う。

- JIS 部材でない部材（海外規格を満たしている部材を想定）及びシステム（海外製ドーム畜舎等のユニット）については、強度試験等を行った上で使用を認める方向で検討。

中間取りまとめ②（基準）

- 新制度を選択した場合には、下記2基準（A基準及びB基準）のどちらかを事業者が選択できる。
- 畜種固有の事情があれば、畜種ごとに必要な基準を定める。

A基準及びB基準のイメージ

A基準

簡易なソフト基準(右記)

＋現行の畜舎建築基準に準じたハード基準^{※1, 2}

⇒ A基準全体として、現行の畜舎建築基準と同等の安全性を確保(新たに手続簡素化のメリット・将来のハード基準緩和のメリット)

※1 当初は現行と同程度のものとし、現行法上の運用を明確化したものを想定

※2 A基準のハード基準は、新制度施行後に技術的な検討(実物実験等)を踏まえた上で緩和を検討

B基準

ソフト基準(右記)＋新ハード基準^{※3}

⇒ B基準全体として、畜舎に必要な最低限の安全性を確保(手続簡素化のメリットに加え、即時のハード基準緩和のメリット)

※3 畜舎の建て替えの頻度及び規模別の地震の発生頻度などを考慮し、例えば震度5強程度の地震では倒壊しないが、震度6強から7に達する程度の地震では倒壊するおそれを否定できない基準を想定し、今後リスクへの対応の在り方等を踏まえて検討



2020

日鶏協ニュース

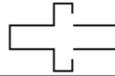
令和2年6月

一般社団法人 日本養鶏協会

ソフト基準のイメージ

畜産振興の観点からの基準

- ・ プロセス（作業・動線）の改善や省力化機械の導入などによる作業の効率化に関する計画
- ・ プロセス（作業・動線）の改善や機械導入などに伴う作業人員の減少見込み
- ・ 家畜排せつ物の処理等、法令遵守に関する事項 等



安全面からの基準

A基準：滞在密度の規制、避難路の確保等の簡易な基準

B基準：

- ・ 「B基準で建設されたものであること」の明示
- ・ 作業効率化による畜舎内滞在時間の削減などを十分加味した滞在密度の規制
- ・ 避難手順の明確化など確実な避難路の確保
- ・ 避難に時間がかかる場合等における避難スペースの確保 等





2020

日鶏協ニュース

令和2年6月

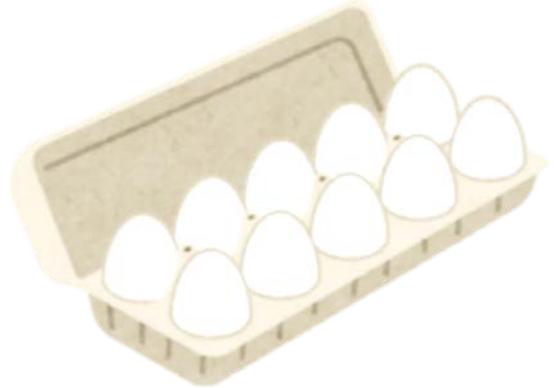
一般社団法人 日本養鶏協会

統計データ

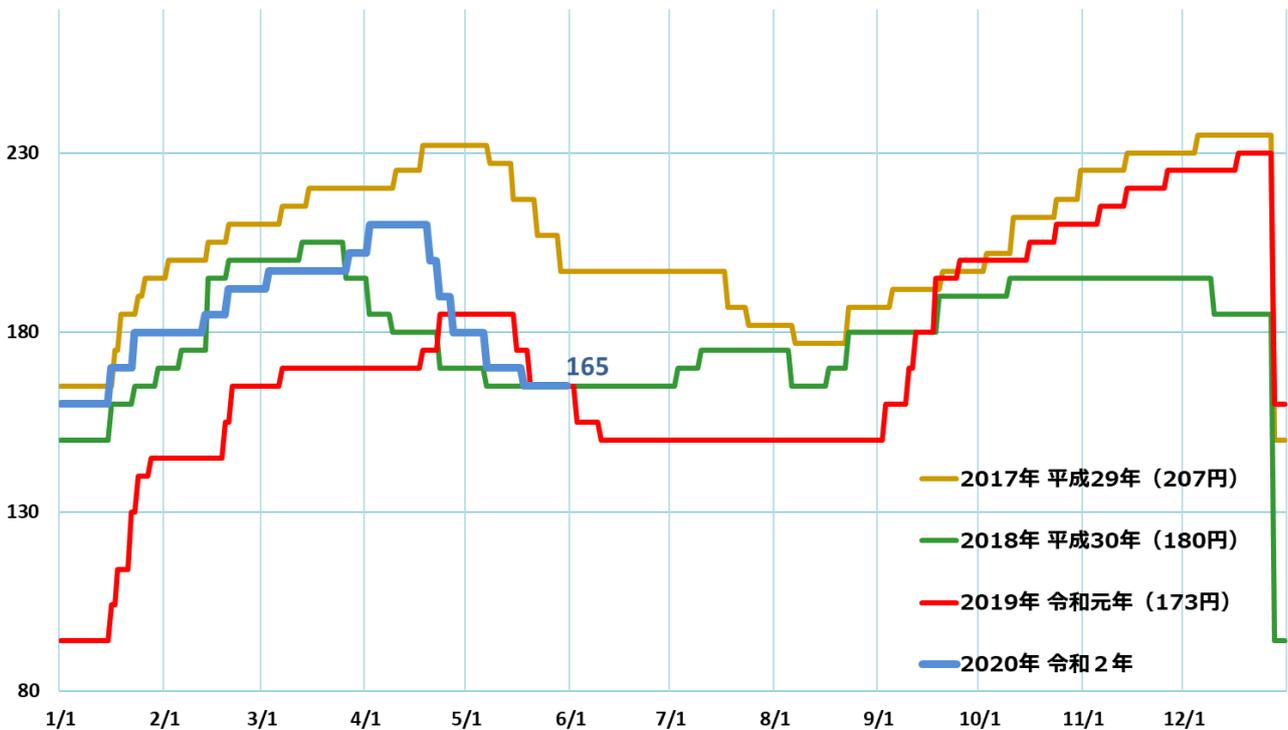
鶏卵相場動向 — 過去10年間の5月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成23年	213	258	199
平成24年	168	208	154
平成25年	164	198	154
平成26年	204	238	194
平成27年	230	253	224
平成28年	204	233	194
平成29年	216	250	191
平成30年	165	188	159
令和元年	173	203	159
令和2年	168	200	159
平均値	191	223	179

令和2年5月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は、高値（200円）は平均値（223円）を23円下回り、安値（159円）は平均値（179円）を20円下回っています。



鶏卵相場推移 2017年～2020年 東京全農Mサイズ 円/kg



5月の相場は月初の180円から月末165円で終わっています。5/18に鶏卵の標準取引価格（日ごと）が160円/kgとなり、安定基準価格161円/kgを下回りましたので、成鶏更新・空舎延長事業が発動となりました。



2020

日鶏協ニュース

令和2年6月
一般社団法人 日本養鶏協会

鶏卵関係主要計数 —— 令和2年3月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千トン)	前年比	数量(グラム)	前年比	前年	本年
元年 4月	9,227	97.1%	503	105.3%	900	101.7%	179	174
5月	9,363	93.3%	498	99.2%	901	93.4%	165	173
6月	8,292	89.5%	457	94.8%	919	101.2%	165	151
7月	9,843	99.0%	491	110.0%	892	105.7%	173	150
8月	7,964	91.3%	456	93.4%	870	101.9%	172	150
9月	8,956	100.7%	449	100.3%	866	98.1%	184	179
10月	8,966	89.9%	496	98.8%	928	101.6%	194	204
11月	9,593	99.0%	489	98.1%	880	97.7%	195	219
12月	8,868	101.8%	526	99.3%	917	98.2%	188	227
2年 1月	10,152	104.6%	482	99.5%	827	93.9%	121	170
2月	8,509	102.6%	473	102.0%	926	112.0%	152	185
3月	10,112	112.4%	499	100.8%	1,014	110.9%	169	197
1年間合計平均(%)	109,845	98.4%	5,819	100.1%	10,840	101.4%	171(平均)	182(平均)

- ・雛餌付羽数は、10,112千羽（前年比112.4%）と前年比12.4%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、499千トン（前年比100.8%）と前年比0.8%増です。
- ・鶏卵の家計消費量は、1,014グラム（前年比110.9%）と前年比10.9%増となっています。
- ・鶏卵相場は、前年平均の11円高を示しました。

協会活動報告

鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)①価格差補填事業の事業参加者との
契約数量（トン/月当たり）

平成28年度	164,846
平成29年度	162,353
平成30年度	169,171
令和元年度	167,141

②令和2年度5月の標準取引価格 163.31円/kg

令和2年度補填基準価格 183円/kg

令和2年度安定基準価格 161円/kg



日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日：2020年6月3日

編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)